

# 第5回池田町・地方創生戦略町民会議 ～「しごと」部門②～

令和2年8月20日(木)  
午後2時～5時  
能楽の里文化交流会館 2階大会議室

## しごとに関する基本目標について

### 【第1期戦略より】

- 町外流出の要因は、「流出・縮小する経済構造」と「仕事の減少」
- 農林業や観光を軸とした6次産業化などで地域資源活用型の産業を創造することと、経済循環を高めることが重要。
- ITインフラ整備などで創造的な業務を行う企業の誘致なども促進

地方創生戦略第2章から抜粋

### 顔が見える地産地消地商の経済を推進し、半農多業化など多様な生業を育む

農村にある地域資源からは、生業的な仕事づくりや、新しいスタイルの商品開発が可能となる。食・観光分野での新たな起業や、半農半Xスタイルでの多様な仕事のあり方が可能となることで、「お金を稼ぐ」ことと、「個性を輝かせる」ことの両立が実現する。

またグローバル化する経済に対抗して地域を守っていくための循環型経済システムの構築に向けて行政がリーダーシップを発揮していく。

これまでは、どちらかといえば、個人が起業などしながら、仕事の間を創り出していくイメージであった。

しかし、人口2000人(=1学年20人の学校づくり)達成の視点からすると、「働く場」は十分には生み出されておらず、今回は地方創生と「働く場」づくりから仕事について掘り下げていきたい。

## 地域内循環型経済の活性化(前回と同じ)

### 【政策実施指標の達成状況】

重要業績評価指標	目標値	H27年度→現在	説明
リサイクル率	50%超	49.5%(H25) ↓ 47.0%(H28)	・環境まちづくりを総合的に進めた時代に比べて、リサイクル率の低下やごみの1人1日当たり排出量の増加など、循環経済への意識と行動が少しずつ弱体化している状況にある。
観光入込客数	20万人	154,088人⇒245,394人 ※観光消費額 401,137千円(H31/R1)	・観光入込客数は、立ち寄り客も含むため、滞在時間を改善するためには、観光消費額や宿泊客数を増やし、満足度を高めていくことが必要。 ・また、農林水産物の販売額の追跡も必要。 ・宿泊施設は、「冠荘」「ファームハウスコミュニティ」「農村de合宿キャンプセンター」「TPAコテージ・樹上テント」。
宿泊客数	10,000人	5,004人⇒11,988人	
LM3(Local Multiplier 3:地域内乗数効果)	向上	1.37(H28)	・食費のうちの外食や惣菜の取り戻し、光熱水費のうちの灯油の取り戻しが有効であるとされながら十分とは言えない。

### 【池田町の部門別の経済規模】

農業 5.6億円(米3億円、野菜1億円等)

福祉事業 約2~3億円

林業生産 約1億円

土木公共建設事業 14.6億円

### 【町外からの稼ぎ】

23億円と推定(県立大学による調査から)

## 就労機会の拡大・多業化の促進(前回と同じ)

### 【政策実施指標の達成状況】

重要業績評価指標	目標値	実績	説明
多様な生業	13件	→9件	<ul style="list-style-type: none"> <li>○園芸農業・6次化                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハーブティー栽培</li> <li>・くろもじ茶</li> <li>・そばぷりん</li> <li>・ポン菓子</li> <li>・レトルト食品等</li> <li>・畑は直売所</li> </ul> </li> <li>○農家民泊事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・農家民宿、ライダー&amp;ゲストハウス</li> </ul> </li> <li>○デザイン関係業種                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築事務所</li> </ul> </li> <li>○農村体験事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・アーシングツアー</li> </ul> </li> <li>○観光産業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>TPA・あそびハウス</li> </ul> </li> <li>○その他                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・カフェ、写真館、本屋など</li> <li>・ワーキングスペース</li> </ul> </li> </ul>
新規起業	13件	→5件	

観光面での入込客増や、新規事業者の増など、新しいチャレンジは少しずつ実を結んでいる。また池田町に「帰ってきたい」という若者も増えてきているのは事実。しかし、こうした産業やビジネスを支える人が不足していて課題が生じている。

## 「産業政策・雇用政策」の政策評価と今後

### ■ 地域資源利用・活用による「しごと」の創造

#### ① 木望の森100年プロジェクト

- ・一般家庭や公共施設での薪ボイラーなどの木質エネルギーの導入
- ・フォレスター制度の導入・環境保全型の森林管理の支援
- ・WOODラボでの商品開発研究

#### ② 農村資源(農地)の活用

- ・UIターン者への農地の貸付制度の創設
  - ・耕作放棄地も徐々に増えてきている。
  - ・こっぽい屋等での販売(生産)が減少している
- ※土地の有効活用・農業者の技術有効活用のため  
園芸振興を進めるべき? また、稲作より園芸振興に  
より力を入れていくべき?

#### ③ エネルギー自給

- ・小水力発電を地域自治主導で実施
- ・太陽熱発電やバイオマスエネルギーの導入

## 「産業政策・雇用政策」の政策評価と今後

### ■ 地域資源を活かした観光拠点開発

#### ① 志津原を中心とした資源利用による観光開発

- ・トンネル開通を背景に積極的に取り組む
- ・TPAについては、拡張計画を実施中  
(子ども向けの森林体験ができるゾーンを建設予定)
- ・観光むらづくり計画については、具体化を検討中
- ・地域間の観光競争のなかで、資本と組織を備えたDMO  
(観光振興と観光協会を兼ねそなえた組織)を設置を目指すこととしている。

#### ② 遊びと学びの場づくり

- ・おもちゃハウス・あそびハウスが完成
- ・子どもも楽しめる場所整備として、川の駅などを  
交流会館隣接の河川公園に設置を検討中。

## 「産業政策・雇用政策」の政策評価と今後

### ■観光開発(宿泊施設)・体験開発

#### ①農村de合宿キャンプセンターの活用

- ・修学旅行などの受入で平日の利用を増やしていくことを目指したいが、地域との連携が未熟。
- ・地域連携により事業を拡大するためにどうすればよいか？

#### ②地域資源を活かした体験事業

- ・個人レベルで多様な活動が行われている。
- ・アウトドアでの体験(乗馬等)や、キャンプ活動などについてのニーズに対応していくこととしている。
- ・農作業の体験化(畑は直売所)は地域ごとの実践を期待

#### ③ワーキング観光について

- ・仕事と体験と観光をミックスした「ワーキング観光」事業はニーズはあるものの、受入協力体制拡大が課題。

## 「産業政策・雇用政策」の政策評価と今後

### ■地産商品・コンビネーション商品の開発

#### ①小規模商品開発

事業費50万円の7割補助率で商品開発を支援(16件)

【一方で、製造が縮小または中止となっているものもある】

ミディトマトジュース、いけだのトマトアイス、甘酒、みたらし団子

#### ②中規模商品開発(専門的商品製造事業)

雇用につながる食品製造業には至っていない。

### ■起業支援

チャレンジ起業支援(事業費1000万円の7割補助で起業支援)によりカフェなどの「憩い・集いの場」が拡大。

兼業的事業が多い(個人事業3件)。

※小規模商品開発の補助率・補助額上限の見直しは必要なのか？

※起業支援(商品開発)の実績は少ないが、どう考えるか？

※起業支援が、半農多業型が多くなっているが、雇用創造タイプとそれ以外に分け、補助率等の差を検討するべきか？

# 「産業政策・雇用政策」の政策評価と今後

## ■「就職」の支援

- 町外への「通勤就職」も重要な選択肢
  - ・道路の整備について→着実に実施中
- 家業での事業も行われている
  - ・後継者確保のための助成事業あり(年80万円)
- 光ファイバーによる新たな働き方の可能性
  - ・技術者であれば、光ファイバー敷設を前提として、リモートワークでの「東京の会社」勤務ができるよう検討中。

※地域内での雇用だけにこだわらず、地域外での多様な働き方の元で「池田町に暮らす」ことの支援も必要ではないか？

※池田町での雇用創出について、公的組織の役割は引き続き有効であると考えてよいか？

※観光産業以外の「起業」に対する支援は必要か？